

# 魅力発見！おやべの職場探訪

第26回

公立学校共済組合 北陸中央病院

## 市内唯一の公的病院 市民病院的役割で地域医療に貢献

1964年4月、全国に8つある公立学校共済組合の直営病院のひとつとして、埴生（現文化スポーツセンター敷地）に開設されたのが北陸中央病院のはじまり。その後、2001年10月に、現在の野寺に新病院を開設してから20年余りが経過しました。

開設した当時は、公立学校共済組合の直営病院ということで、学校の先生やその家族のための病院といったイメージを持つ人が多かったとのこと。今では、救急告示病院の指定を受け、砺波地区の病院群輪番制に加わり、24時間体制で救急患者も受け入れる本市唯一の公的病院として、市民病院的な役割を担いつつ、病診連携を図りながら、地域医療の発展に貢献しています。

北陸中央病院の特徴の一つであり、公的病院が設置するのは珍しい病棟として教えてくれたのは、「急性期病棟」「地域包括ケア病棟」「療養病棟」からなるケアミックス病棟。そのうち、平成28年2月に開設した「地域包括ケア病棟」では、急性期治療を終えた患者さんや、在宅療養をしている人など、幅広く支援を丁寧に行っています。

また、北陸中央病院では、市民の健康意識を高めるため、毎年、著名な医療関係者を招き、参加費無料で「健康フォーラム」を開催しています。今年も9月11日に予定しているとのこと。これも市民病院のように地域に密着した特徴ある取り組みですね。



3000人余りの職員が働く北陸中央病院では、子育て中の職員が安心して仕事に打ち込めるよう「院内保育園」を完備して、働きやすい職場づくりにも取り組んでいます。採用関係では、毎年、医師や薬剤師、看護師や保健師など、さまざまな職種の新卒を募集しているとか。地元で貢献することができ、地元で働きたい医療系有資格者にとって、とても魅力的な職場ではないでしょうか。

### 働く人に聞きました



北陸中央病院 埴生 堀田美波さん  
（平成30年入社）

私は現在、急性期病棟で勤務しており、命の危機に直面している患者様や手術が必要な患者様を対象に、治療から症状が安定するまでの看護を行っています。

医療の現場ではチームワークがとても大切であり、多職種のスタッフがそれぞれの専門性を発揮しながら共通のゴールに向かい日々奮闘しています。そのチームの一員としてチーム医療に携われる中で知識やスキルも日々向上し、力を合わせて頑張っています。

患者様に寄り添い、多くの時間を共有していくなかで、「ありがとう」と笑顔で感謝の言葉を直接言っていたり、ける機会も多く、やりがいを感じています。

### うちの会社の強み

その1 医師会・行政と連携し、市民病院的役割を果たしている。  
その2 さまざまな資格を持つ職員が、一丸となつて働いている。

### ■事業所データ

事業所名	公立学校共済組合 北陸中央病院
設立	昭和39年
業種	医療業
住所	野寺123
電話	67-1150

